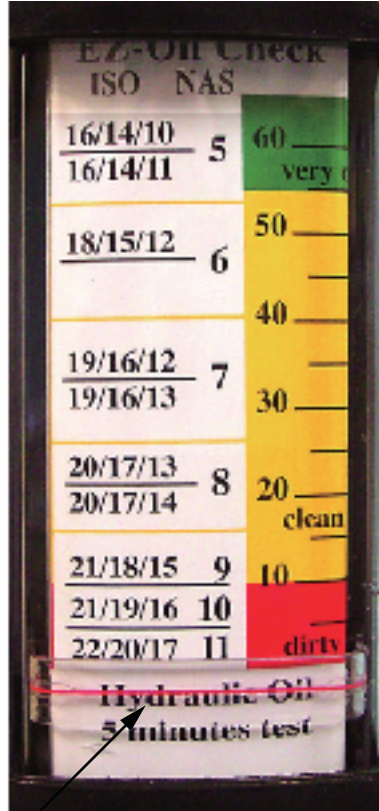
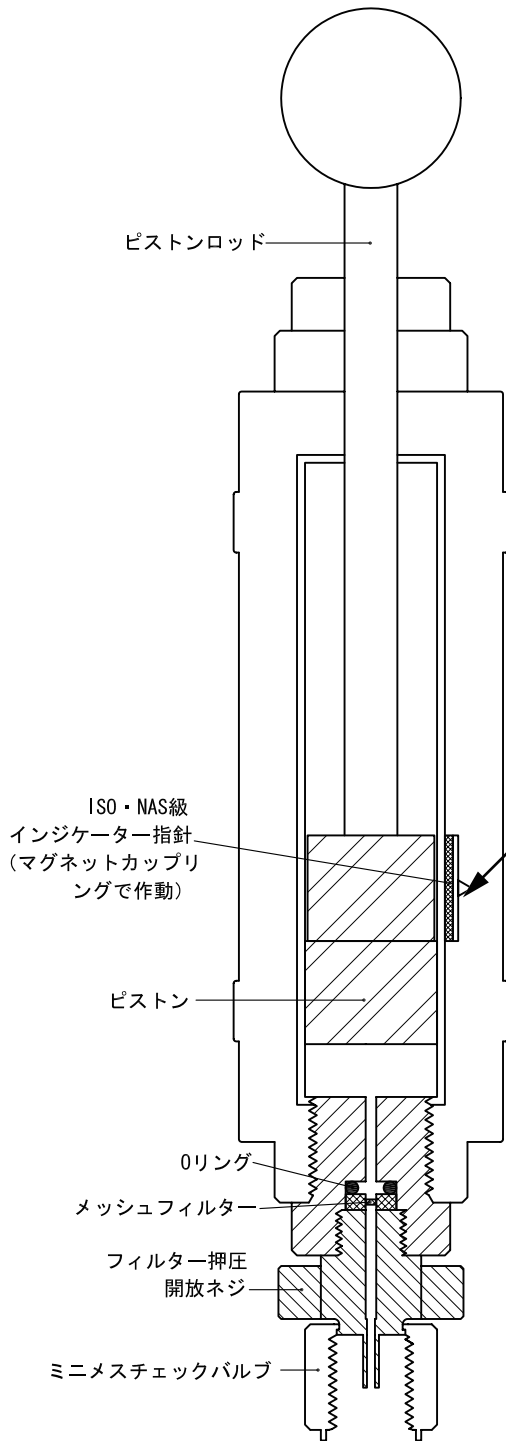


EZオイルクリーンチェッカー 作動原理



● 高い繰り返し精度

特殊なノウハウと高度な技術力で開発されたEZチェッカーは、現場で必要とされる充分以上の性能を保証します。

精度 : ISO指標の
± 1 段階以内

● 高い耐久性

シンプルで頑強な構造が、長期間安定した性能と耐久性を保証します。

ミニメス チェックバルブに直接接続したオイルライン、ないしサンプリングしたボトルを収納するオフラインチェック容器に掛かる0.4Mpa前後の圧力によってサンプルオイルはチェッカーのシリンダー内に導入されます。

流入経路の中間に、精密な計算に基づいて製作されたメッシュフィルターが設けられており、5 μ 以上のコンタミはこのフィルターによってブロックされ、約5分の計測の間にフィルターを完全にブロックしてそれ以上オイルがシリンダー内に上がらなくなった時点でピストンの上昇が停止し、外部マグネットによってカップリングされた指針がその時の位置で、ISO ないしNAS等級でクリーン度を示します。

最初のチェックを終え、次のチェックに入る前には、シリンダー内に残留するオイルをすべて外部に排出させます。ピストン ロッドの上部を手のひらで押し下げると、最初ポタポタとオイルが出ますが、約20滴程この状態で行い、その後フィルター押し圧解放ネジを緩めて再度ピストンロッドを押し下げるとまだシリンダー内に残留しているオイルがすべて排出されます。

通常内部の洗浄は必要ありませんが、水/グリコール液の場合には、適時水ないし、アルコールを通してフィルターをクリーニングした方が良い場合があります。